

やまぼうし通信

NO. 130 2023年4月20日

やまぼうしも新時代へ！！

令和5年度が始まりました。5月8日には新型コロナウイルス感染症が「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行し、新たな時代へと突入します。

やまぼうしは持続可能な事業体制への移行として様々な活路を模索をしている最中です。一つのキーワードとして、「人材」が挙げられます。やまぼうしは依然として人材不足に悩まされていますが、職員の努力でなんとか運営している状況です。

やまぼうしだけではなく、福祉業界全体が人材不足ですが、今回は複数の福祉事業所での勤務を経験されている、藤野理事から、福祉業界の人材の現状を伝えていただきます。



黒川清流近くの桜

介護福祉業界における人手不足と 外国人雇用について



認定NPO法人やまぼうし 理事
特定社会保険労務士 藤野達也

皆さんは介護福祉業界における2025年問題というものをご存知ですか。これは3年後には34万人もの人材が介護福祉の業界では不足するという問題です。

少子高齢化が急速に進展する中でどの職種についても人手不足は叫ばれています。介護福祉業界はその中でも最も人手不足が深刻な業界の一つです。

日本国内で募集広告を出しても応募がほとんど皆無といった状況です。

他の職種と違い介護福祉業界の人手不足はもう待たないの状況です。そこで日本は高齢者の活用を当然視野に入れなければいけません。身体的な問題等どうしても若い人材が必要不可欠になります。そこで日本も外国人労働者の雇用を真剣に考える時期が来ていると私は考えています。さてそれを踏まえてまずは日本における介護福祉業界の外国人雇用の現状を見てみたいと思います。厚生労働省の「産業別・雇用事業者数および外国人労働者数」によると医療福祉分野における外国人労働者数は2022年10月1日時点で7万4339人です。そのうち約半数以上が介護福祉の分野で働いていることが分かります。

それでは次に介護福祉の分野で外国人労働者を受け入れる場合、どのような受け入れ方があるのかについて見ていきましょう。現在日本では介護福祉の分野で外国人労働者を受け入れるには4つの制度があります。①2008年から受入れが始まったEPA経済連携協定による介護福祉候補者によるもの②2017年9月から始まった在留資格「介護」によるもの③2017年11月から始まった在留資格「技能実習」によるもの④201

9年4月から始まった在留資格「特定技能」によるものです。その中で①の介護福祉候補者によるもの及び②の在留資格「介護」によるものは中 小の介護福祉事業者にとってはハードルが高いと思われますので比較的簡単に受け入れのできる③在留資格「技能実習」によるものと④在留資格「特定技能」によるものについて説明したいと思います。まずは「技能実習」ですがこれは比較的安い報酬で外国人労働者として受け入れることができますが、あくまでも実習生であるため5年間しか日本に滞在することができず、また3年終了後いったん1か月以上本国へ帰国することが法律上で定められていたり、家族を呼び寄せたりすることができない等の制約があります。また一部の業界での人権侵害が問題視されており、いずれ廃止の方向で検討されるものとなる可能性があります。

ところが「特定技能」はまだ新しい制度ですが特定技能2号になってから10年日本に滞在すれば永住資格も取得できますし家族を呼び寄せることも可能です。ですから最も使い勝手のいい在留資格になっていくと考えられます。

最後に上記のことを踏まえ外国人労働者を受け入れるにあたってのメリット及びデメリット等をお話して締めくりたいと思います。

(メリット)

- ① 日本人と比べても真面目である
- ② やる気があるので仕事に対するのみ込みが早い
- ③ 仕事を休まない
- ④ 残業を嫌がらない
- ⑤ 明るい
- ⑥ 日本人労働者も外国人労働者の働く姿を見て刺激されたり視野が広がったりする

(デメリット)

- ① 日本語が日本人と比較してなかなか覚えられない
- ② メモを取る習慣がないためわからないことを何度も繰り返すことがある
- ③ 特に生活面において宗教・文化の違いによりトラブルになる事がある
- ④ 利用者が外国人に対するアレルギーがある
- ⑤ ホームシックになる事がある

但し、デメリットの項目については仕事面の指導員及び生活面の指導員をしっかりと配置し丁寧に指導していけば1年もすれば十分解決できる問題ばかりです。第1期の人材をしっかりと育成すれば第2期、第3期の人材は第1期の人材が指導できるようになるので第1期の人材育成に力を入れることが最も重要になってくると思います。

●活動報告

4/1、日野市市民の森ふれあいホールにて、れんげ春まつりを開催しました！

おちかわ屋からたい焼きとホットドック、れんげからポップコーンの出店を出し、ミニゲームやミニコーヒーカップを作るコーナーでは子供たちに大好評でした♪

